

ニューズレター No.108

発行人 谷川 裕稔

2019(令和1)年7月18日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.108をお届けいたします。今回は、

- (1) 定時総会のお知らせ
 - (2) 第15回全国大会開催のご案内
 - (3) 第2回授業実践フォーラム・第11回九州・沖縄支部会の開催のご案内
 - (4) 第7回関東・甲信支部大会、第1回授業実践フォーラムの開催報告
 - (5) 学習支援部会・ICT活用教育部会・大学e-ラーニング協議会合同シンポジウムの開催報告
 - (6) 第12回関西支部大会の開催報告
 - (7) 東海北陸支部研究会の開催報告
- についてお知らせいたします。

定時総会のお知らせ

2019(令和1)年度日本リメディアル教育学会定時総会を下記の日程にて開催いたします。

日時:2019年8月27日(火曜日) 10:30~11:10

(第15回全国大会2日目)

場所:金沢工業大学 23-218教室

なお、総会で取り上げてほしい議題がございましたら出来るだけ事前にHPの問い合わせより事務局までご連絡ください。

(当日、その他の議題で提案することも可能です。)

第15回全国大会開催のご案内

下記の通り、第15回日本リメディアル教育学会全国大会・総会を開催いたします。プログラム等の詳細は[全国大会のHP](#)をご覧くださいだけです。

今年度は、大会テーマを「新たな学びのかたちと学習支援」としました。新学習指導要領の実施にともない、学習のかたちも大きく変容していきます。それに伴い、大学に入学する学生の学習観も大きく変わっていくことが予想されます。この変化に対応するため

に、大学の教育や学習支援体制も変わっていく必要があります。今回の大会では、今後の大学の学びのあるべき姿とその中で学習支援について考えます。今大会では、高大接続システム改革における「学力の3要素」の定着を意識し、教科学習におけるアクティブラーニングの導入などにより高校教育の現場がどのように変化していくのか、それを受け入れる大学のリメディアル教育や初年次教育はどのように対応していく必要があるのか、先進的な高校現場の取組や高大連携の取組に着目します。ユニバーサル時代にふさわしい高大接続を実現するための高大教職員の連携の可能性を追求します。

また、今大会の会場校となります金沢工業大学は「面倒見の良い大学」で14年連続第1位となっております。現地企画といたしまして「金沢工業大学の学習支援(仮題)」というテーマで学習支援に関するフォーラムを開催いたします。

さらに、大学内施設見学ツアーを数回予定しております。みなさまの参加をお待ちしております。

1. 基本情報

日時:2019(令和1)年8月26日(月)~8月28日(水)

会場:金沢工業大学

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 扇が丘キャンパス

(アクセス https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html)

2. プログラム

第1日目 8月26日(月)

14:00 受付開始

14:50~15:45 口頭発表A

15:50~16:00 支部総会(東北・関東甲信・九州沖縄)

16:05~17:35 専門部会企画(英語・学習支援・ICT活用教育・医療系)

第2日目 8月27日(火)

8:30 受付開始

9:00~10:25 口頭発表B

10:30~11:10 総会・優秀論文賞表彰式

11:10~11:30 開会式

11:35～12:35 ランチョンセミナー
13:10～14:30 ポスター発表
14:35～16:15 基調講演
講師:美馬 のゆり 氏
タイトル「学習の変革に向けて—自己調整学習者を育てる」
16:20～17:50 現地企画
「金沢工業大学の学習支援(仮題)」
18:00～ 情報交換会

第3日目 8月28日(水)

8:30 受付開始
9:00～10:25 口頭発表 C
10:30～11:25 口頭発表 D
11:30～13:00 昼休み
13:00～14:30 部会企画(理数系・日本語・学習言語・学校教育)
14:35～ 閉会式・大会発表優秀表彰式

3. 参加費

(1)大会参加費(情報交換会は含まない)

正会員・賛助会員・大学会員:事前 4,000 円 当日 5,000 円
非会員:事前・当日ともに 5,000 円

(2)情報交換会参加費

正会員・賛助会員・大学会員・非会員:事前・当日ともに 5,000 円

※事前参加申し込みのお願い

当日の混雑緩和のため、事前の参加申し込みにご協力をお願いいたします。大会サイトより、事前参加申し込みシステムへログインして、お申し込みください。

早期に参加申込みをされると、割り引かれた大会参加費(¥5000→¥4000)による事前支払いができます(会員に限ります)。事前参加の締切は、8月2日(金)17:00(郵便振替の場合)、8月5日(月)17:00(クレジット支払いの場合)となっています。

・第15回大会サイト <http://www.jade-web.org/conference/conference.html>

・事前参加申し込みシステム

<https://iap-jp.org/jade/conf/login.php>

4. 問い合わせ先

日本リメディアル教育学会 大会ヘルプデスク

jade-desk_at_bunken.co.jp([_at_](#) をアットマークに書き換えてください)

なお、詳しいプログラム・会場への案内などは [HP](#) をご参照ください。

第2回授業実践フォーラム・第11回九州・沖縄支部会開催のご案内

第2回 授業実践フォーラムおよび第11回 九州・沖縄支部会大会を下記のとおり開催いたします。JADEの会員はどなたでも発表および参加できます。また、学会員でない方も参加可能です。奮ってご参加ください。なお沖縄行きの航空機が一部満席の便もあります。早めのご予約をお勧めします。

1. 基本情報

日時:2019年11月23日(土)10時00分～16時30分(大会後、情報交換会あり)

会場:沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市字小禄1831番地1

TEL098-859-6234

<https://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>

アクセス:那覇空港から車で10分程度の場所にあり、タクシーまたは路線バスの利用が便利です。

2. 内容

- (1) 授業実践フォーラム(1件60分[発表20分+質疑40分])
- (2) 九州・沖縄支部総会
- (3) 個人研究発表(1件20分[発表15分+質疑5分])
- (4) 情報交換会

3. プログラム

9:30～10:00 受付

10:00～12:10 授業実践フォーラム Part1

11:10～12:10 授業実践フォーラム Part2

お昼休憩(弁当の用意はありませんが近くにコンビニ等ございます)

13:20~13:30 九州・沖縄支部会開会行事・総会

13:40~16:30 研究発表

18:00~20:30 情報交換会

4. 研究発表の申込について

(1)発表資格:学会当日までに年会費(過去の未納分を含む)を納めたJADEの個人会員であること。連名の場合は、筆頭者が会員であること。

(2)申込み締切 :10月12日(土)

(3)採択結果通知 :10月19日(土)

(4)予稿集原稿締切:11月1日(金)

(5)申込み:「発表申込みフォーム」(9月下旬にHP上に開設予定)

(6)原稿フォーマット:採択結果の通知時に添付(全国大会に準ずる)

5. 参加の申込について

(1)受付け締切:11月16日(土)*当日参加も可

(2)受付け方法:「参加申込みフォーム」(9月下旬にHP上に開設予定)

(3)参加費:無料

(4)情報交換会:場所・予算は決まり次第連絡します

(5)宿泊先:学会では斡旋はしておりませんので、各自予約

6. 問い合わせ先

(_at_ は@に直して送信してください)

(1)九州・沖縄支部大会実行委員長
笠村淳子(名桜大学)

TEL:0980-51-1229(代)

E-mail: j.kasamura_at_meio-u.ac.jp

(2)JADE九州・沖縄支部会支部長
江原由裕(九州龍谷短期大学)

TEL: 0942-85-1121(代)

E-mail: chara_at_k-ryukoku.ac.jp

第7回関東・甲信支部大会、第1回授業実践フォーラムの報告

第7回関東・甲信支部大会の開催にあたり、午前の部として第1回の授業実践フォーラムを開催いたしました。参加者は67名でした。プログラムおよび予稿集は[支部会のHP](#)でご覧いただけます。

■日時:2019年2月22日(金) 9時50分~15時45分(名刺交換会 15:50~17:00)

■会場:大妻女子大学 千代田キャンパス G棟4階

学習支援部会・ICT活用教育部会・大学eラーニング協議会 合同シンポジウムの開催報告

2019年3月14日(木)・15日(金)に山梨大学において、「授業設計理論とICT活用教育の接続」をテーマとして、大学eラーニング協議会(UeLA) & 日本リメディアル教育学会(JADE)の合同フォーラムを開催しました(※JADEは、学習支援部会とICT活用教育部会の共同企画)。フォーラムの参加者数は172名でした。

■日時:

2019年3月14日(木):大学eラーニング協議会(UeLA) 総会・フォーラム

2019年3月15日(金):日本リメディアル教育学会(JADE)(ICT活用教育部会・学習支援部会) / 大学eラーニング協議会 合同研究会

■場所:山梨大学 甲府キャンパス

■発表数:

(1日目)基調講演2件、事例報告2件、ポスター発表10件、企業展示5社

(2日目)シンポジウム登壇者2件、研究発表13件、企業展示5社

合同フォーラムでは、1日目に合同基調講演「ID(Instructional Design)の理論とe-Learningへの実装」として熊本大学の平岡齊士先生・合田美子先生にご登壇いただき、続いて開催校である山梨大学の森澤正之先生の反転授業に関する事例紹介が行われました。ポスター発表では、IDをICT活用教育につなぐための課題とその解決を目指した取り組み事例10件が発表されました。また、

大学 e ラーニング協議会が提供する電子書籍型オンライン学習システム (CHiLO Book) や共通基盤教材の利用事例の紹介が行われました。

2 日目には、各大学の事例・研究成果を中心とした 13 件が発表され、午後には「これからの学修(習)支援のあり方」と題して、学修支援シンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、シンポジストのはこだて未来大学の富永敦子先生による「データを利用した実践的なチュータートレーニングの実施」、九州大学の山田政寛先生による「ラーニングアナリティクスに基づいた教育・学習支援をするためには」についてご発表いただいた後、参加者との活発なディスカッションが行われました。今回のシンポジウムでは、新たな試みとして、遠隔地にいながら参加できるライブ配信を試み、非常に好評を得ました。また、会員大学以外からも多数のご参加・発表がありました。取り上げられたテーマは多様で、多くの興味深い研究発表が行われたことにより、学習支援や ICT 活用教育等の多様な知見に触れる機会となりました。さらに、学習支援と ICT 活用教育との密接な関係性やいかに連携を図ることが重要であるのかなど、新たな発見の良い機会ともなりました。

今回、大学 e ラーニング協議会 (UeLA) との合同開催により、フォーラム参加者は 2 日間で 172 名と、前年度を上回る先生方に会場いただき、魅力ある企業展示 (5 社) など、充実した内容で開催することができました。また、予稿集の発刊では CCC-TIES のご支援をいただきました。参加者の中には、新たに日本リメディアル学会員への加盟を希望される先生方もおられ、本学会の活動内容にご関心・ご興味を持たれた方が多数お集まりになり、盛会のうちに終了することができました。合同フォーラム開催にあたり、ご支援いただいた皆さま、ご参加・ご発表いただいた先生方、新たな共同研究メンバーとしてご参加いただいた先生方をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

今後もこのような合同企画も検討しつつ、本学会の活動内容や研究成果の発信を積極的におこなっていければと考えております。

(仲道 雅輝)

第 12 回関西支部大会の開催報告

2019 年 3 月 29 日 (金) に滋賀大学彦根キャンパスにおいて、第 12 回日本リメディアル教育学会関西支部大会を開催した。

鶴飼昌男会員 (神戸学院大学) による基調報告「高大接続から

見た大学の初年次教育のあり方について—入試が選抜機能を十分果たさない現状に対する提案—」は、単なる教育実践に留まらない、大学マネジメントやガバナンスまでも視野に入れた、ビジョンあふれる報告だった。鶴飼報告を聞いて痛切に感じたことは、リメディアル教育の取組を、どのように理事長や学長といった経営陣に、説得的に伝えるかである。本学会は「大学の経営陣を対象にした発信戦略」に欠けていたのではなかろうか。教育改革を成し遂げるためには、研究者が研究者に向けて教育実践を発表する段階から、もう一段進化する必要があろう。その着眼点を具体的に提示し、議論を喚起してくれた鶴飼会員に感謝したい。(児玉英明)

東海北陸支部 研究会の開催報告

日本リメディアル教育学会 (JADE) 東海北陸支部は下記のとおり研究会を開催いたしました。参加者は 15 名でした。なお、この研究会は、教育システム情報学会東海支部が主催するもので、JADE 東海北陸支部は共催をしました。

■日時: 2019 年 5 月 11 日 (土)

■場所: 名駅セミナーオフィス ルーム C

名古屋市西区名駅 2 丁目 25-3 ハイネスト浜島 2FB 号室

■プログラム

【研究会】

主催: 教育システム情報学会東海支部

共催: 日本リメディアル教育学会東海・北陸支部

座長: 津森 伸一 (聖隷クリストファー大学)

・14:05 ~ 15:05

「専門学校教育について—医療秘書・診療情報管理士教育の現状と課題」

今田 英己 先生 (あいちビジネス専門学校)

・15:10 ~ 16:10

「統計結果の活用: 集計と推定の違い」

渡邊 豊英 先生 (名古屋産業科学研究所)

・16:15 ~ 17:15

「初等統計学での教育方法の検討—データに基づく継続的改善」

寺尾 敦 先生 (青山学院大学)

・研究会終了後に、情報交換会を開催しました。

今田先生は、ご自身の学校で取り組んでおられるリメディアル教育の現状と課題についてご発表されました。渡邊先生は、研究で得られた統計結果の解釈や活用方法について、寺尾先生は、心理学を専攻とする大学生に対する初等統計学の教育方法について、それぞれ、ご発表されました。今回の研究会では、「統計」という共通するテーマについて、渡邊先生は研究者の立場として統計を扱う際の留意点を述べられ、寺尾先生は統計教育にも携わる研究者として教育方法の工夫・改善をされておられる点について発表されました。なお、JADE 東海北陸支部は、教育システム情報学会東海支部との共催で、2019年12月の土曜日にも、研究会を開催する予定です。詳細は、本学会のWEBサイト上でもお知らせします。皆様、ぜひ、ご参加ください。 (野崎浩成)

会費納入のお願い

2019年度の会費納入を、まだされていない方は会費の納入をお願いいたします。

3月上旬に来年度の会費納入の案内をお送りいたしました。かねてよりお知らせしていますように、2018年度総会で、以下の通り来年度からの会費の改定が決定されました。

個人会員 年会費 6,000円(現状 4,000円)

大学会員 年会費 12,000円(現状 10,000円)

賛助会員 年会費 30,000円(現状 30,000円)

日本リメディアル教育学会はここ5年毎年赤字を続けており、このままでは将来的に資金が不足して学会運営が困難になることが予測されます。会費値上げの主な背景には、事務局業務の外部委託や学会誌への投稿システムの導入やJ-Stageへの対応などがあります。

外部委託は会員の負担軽減を意識したものです。最近、高等教育機関の教員の公(校)務は、なべて激務で、学会の事務局の業務を兼務することは困難な状況になっております。本学会の運営のために、会費の値上げにご理解くださいますようお願い致します。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】藤田 大雪